人と組織の行動変容を成果につなげる
人財育成プラットフォーム

Smart Boarding

教育プロセスを通じて、成長実感を作り出し
社員の行動変容を実現する

INDEX

01.会社案内	P3～8
02.担当者紹介	P9
03.教育を取り巻く環境と背景について	P10～12
04.Smart Boardingについて	P13～25
05.導入実績	P26～28
06.料金体系	P29～33
07.FAQ	P34～35

FCEについて

株式会社FCE

証券コード: 9564

設立	2017年4月21日 （グループ創業: 2004年2月19日）
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 10F
代表取締役社長	石川 淳悦
資本金	764百万円（2025年3月31日時点）
従業員数	300名（2026年4月1日時点）

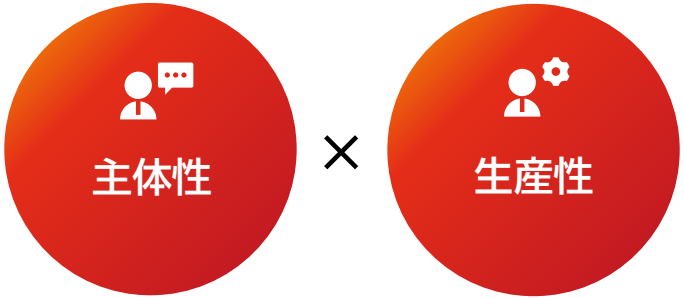
Tokyo　Osaka

FCEについて

Purpose

チャレンジ
あふれる
未来をつくる

Mission ※



人的資本の最大化に貢献する
Human Capital Maximizer

DX推進事業　教育研修事業

トレーニング・カンパニー事業本部について

TC事業本部Purpose

働くをもっと
おもしろくする

TC事業本部Mission

人が持つ力・チームが持つ力
を最大化する

事業ポートフォリオ

教育研修事業

HR

Rescle レジリエンス研修

Change

7つの習慣® Business Ownership

7つの習慣 Self Coaching

Education

アクティブラーナーの資質を引き出す フォーサイト

Global Academy

アクティブラーナー育成授業 7つの習慣J

出版事業

全世界5,000万部
日本270万部

DX推進事業

HRDX

Smart Boarding

導入企業1,200社以上

Education DX

ウェブで授業研究
Find! アクティブラーナー

アクティブラーナー育成授業 7つの習慣J Online

RPA

RPA Robo-Pat DX

導入企業2,100社以上

AI

AI OMNI AGENT

FCE プロンプトゲート

FCEの取り組みを通じた成果

14年連続受賞

「働きがいのある会社」ランキング ベストカンパニー受賞

Great Place To Work®は、世界約150ヶ国で**年間10,000社以上**の働きがい（エンゲージメント）を調査し、上位企業を「働きがいのある会社」ランキングとして発表しています。

Great Place to Work®

5年連続受賞

「ストレスフリーカンパニー」受賞

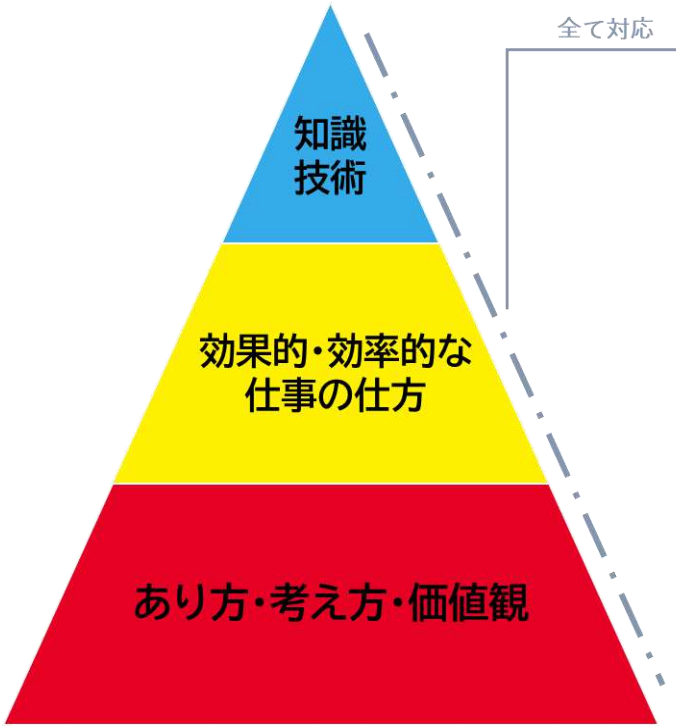
全国約8,500社の中から「総合健康リスク」が90未満という優れた結果を収めた企業に贈られるものです。

ストレスフリーカンパニー表彰委員会

FCEの取り組み

- キャリアプラン・ライフプラン面談
- レビュー制度
- 「7つの習慣研修®」受講
- Value評価
- 評価制度に合わせた学習・テスト
- 共通言語化
- Value Book
- DIPS運動（生産性向上のための取組み）

サービスプログラム



社員教育のピラミッド

Smart Boarding

社員教育制度構築のプラットフォーム

OJTも研修もeラーニングもこの一つのシステムで実現、
専任コンサルタントが教育制度構築の支援も行う社員教育プラットフォーム

xDrive ドライブ

会議型コンサルティング

扱う題材は「目標」そのもの。「やり抜く力」を持った組織体質へ
PDCAサイクルを軸にした組織コーチングプログラム

Rescle レジリエンス研修

「心の筋肉」を鍛える実践的トレーニング

変化の時代を生き抜く、“立ち直れる”強い組織へ
折れない心ではなく、立ち直れる力を鍛えていく方法を学ぶプログラム

インハウス研修 Customized training

オーダーメイド研修

経営者層・管理職層・リーダー層・新入社員、それぞれの階層に向けての
貴社専用にカスタマイズしたオリジナル研修

Change

新入社員研修Change

自ら学び、挑戦する新入社員へ変革する、他社新入社員との合同研修

7つの習慣® 研修 Business Ownership

リーダーシップ研修の最高峰

「7つの習慣出版元」のFCEグループが提供する「7つの習慣研修」

教育を取り巻く環境の変化

現場の教育課題

“背中を見て育て”の教育スタイルで若手世代が育たない・・・

「成長イメージが湧かない」という理由による離職の発生・・・

研修・Eラーニングやってみたけど、やらされ感のまま・・・

AI・テクノロジーの進化。現場が変化に追い付いていない・・・

今、求められるのは一人ひとりの行動変容＝自ら学び変わる姿勢

なぜ、自ら学ばないのか？

学ばない理由は能力ではなく、心理的な障壁にある。

なぜ学ぶのか分からない

目の前の業務と研修が結びつかず、
当事者意識が育たない。

自分の課題に気づいていない

経験により「自分はもうできている」と感じ
今のやり方を見直す必要性を
認識できていない。
自分よりも他人に矢印が向いている

やっても変わらない

学ぶことで自身の行動や仕事の成果が
どう変わるのか、
具体的なイメージが持てない

知識のみが得られる研修やeラーニングでは越えられない。
人が持つ心理的な壁を順番に乗り越える設計が必要

心理ステップを一段ずつ進める、行動変容の設計

「心理的な壁を乗り越え、自走する人財を育成する。

01	02	03	04	05
気づく	学ぶ	やってみる	出来る	続ける
学ぶ必要性	視野を広げる	実践の場	成長実感	習慣化

Smart Boardingは、この 5 ステップを設計・運用・伴走でまるごと支援します。

人と組織の行動変容を成果につなげる
人財育成プラットフォーム

Smart Boarding

教育プロセスを通じて、成長実感を作り出し
社員の行動変容を実現する

make work more exciting!

FCE
Frontline of Creative Entrepreneur

Smart Boardingのポイント

1
やってくれない・見てくれないを防ぐ
『学ぶ理由』を作るキャリアマップ作成

2
自らの課題に気づき学びを促進する
“動画“×“実践トレーニング“

3
やって終わりを防ぐ
貴社専任伴走型サポート体制

学ぶ必要性に気づく

「学ぶ理由」を、まず作る。

現状と理想のGAPを可視化し、当事者意識を芽生えさせる

Before/受動的な学習

- 「やらされ研修」で記憶に残らない
- 研修後行動の変化に繋がらない
- 学びが評価・キャリアと無関係
- 成長実感が湧きづらい

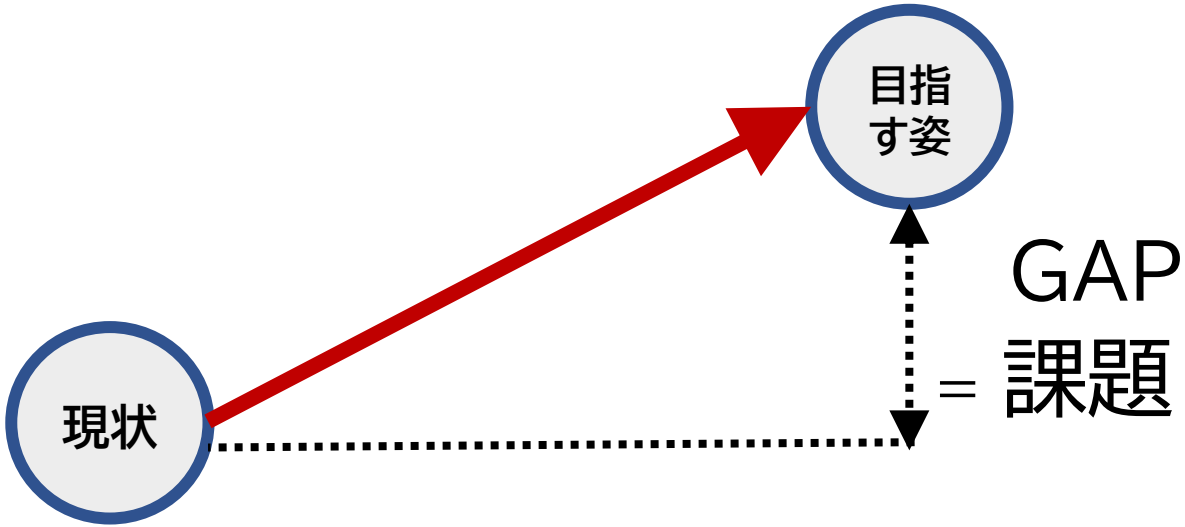
After/能動的な学習

- **「なりたい自分」が起点になる**
- **業務と学びがつながる**
- **学びの選択を社員が主導**
- **成長実感が次の挑戦を生む**

学ぶ必要性に気づく

「学ぶ理由」を、まず作る。

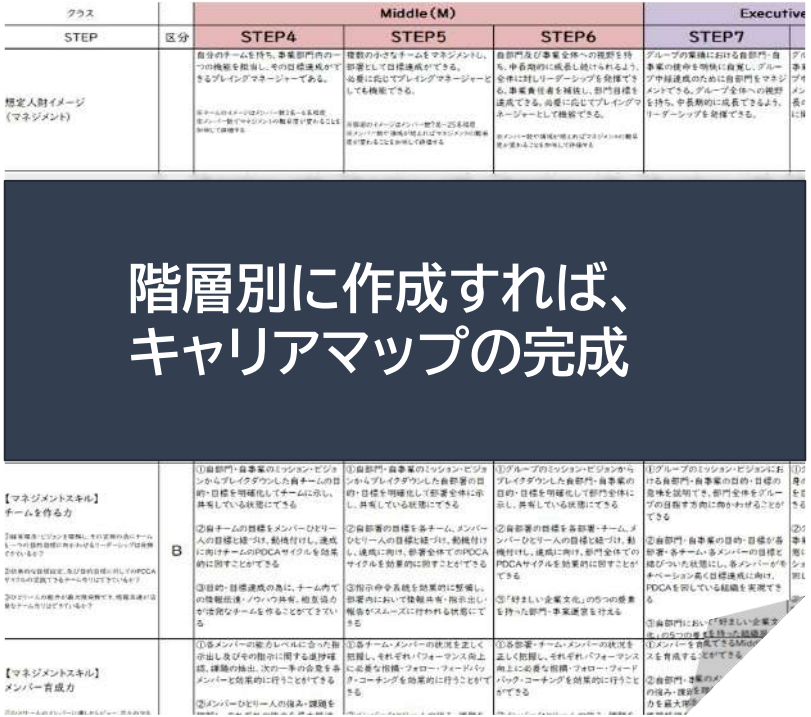
現状と理想のGAPを可視化し、当事者意識を芽生えさせる



各階層に求める人材像と現状のGAPの可視化が、学ぶ動機を生む

学ぶ必要性に気づく

階層別キャリアマップの活用例



クラス		Middle（M）			Executive
STEP	区分	STEP4	STEP5	STEP6	STEP7
想定人財イメージ（マネジメント）		自分のチームを持ち、事業部門内の一つの機能を担当し、その目標達成ができるプレイングマネージャーである。	複数の小さなチームをマネジメントし、部署としての目標達成ができる。必要に応じてプレイングマネージャーとしても機能できる。	自部門及び事業全体への視野を持ち、中長期的に成長し続けられる人、プロ経営者の為に自部門をマネジメントできる。事業責任者を補佐し、部門目標を達成できる。必要に応じてプレイングマネージャーとして機能できる。	グループの業績における自部門・自事業の使命を明快に自覚し、グループ目標達成のために自部門をマネジメントできる。グループ全体への視野を持ち、中長期的に成長できるよう、リーダーシップを発揮できる。
【マネジメントスキル】チームを作る力	B	①自部門・自事業のミッション・ビジョンからブレイクダウンした自チームの目的・目標を明確化してチームに示し、共有している状態にできる ②自チームの目標をメンバーひとりひとりの目標と紐づけ、動機付けし、達成に向けチームのPDCAサイクルを効果的に回すことができる ③目的・目標達成の為に、チーム内での情報伝達・ノウハウ共有、相互協力が活発なチームを作ることができている	①自部門・自事業のミッション・ビジョンからブレイクダウンした自部署の目的・目標を明確化して部署全体に示し、共有している状態にできる ②自部署の目標を各チーム、メンバーひとりひとりの目標と紐づけ、動機付けし、達成に向け、部署全体でのPDCAサイクルを効果的に回すことができている ③指示命令系統を効果的に整備し、部署内において情報共有・指示出し・報告がスムーズに行われる状態にできる	①グループのミッション・ビジョンからブレイクダウンした自部門・自事業の目的・目標を明確化して部門全体に示し、共有している状態にできる ②自部署の目標を各部署・チーム、メンバーひとりひとりの目標と紐づけ、動機付けし、達成に向け、部門全体でのPDCAサイクルを効果的に回すことができている ③「好ましい企業文化」の5つの要素を持った部門・事業運営を行える	①グループのミッション・ビジョンにおける自部門・自事業の目的・目標の意味を説明でき、部門全体をグループの目指す方向に向かわせることができる ②自部門・自事業の目的・目標が各部署・各チーム・各メンバーの目標と結びついた状態にし、各メンバーがモチベーション高く目標達成に向け、PDCAを回している組織を実現できる ③自部門において「好ましい企業文化」の5つの要素を持った組織
【マネジメントスキル】メンバー育成力		①各メンバーの能力レベルに合った指示出し及びその指示に関する進捗確認、課題の抽出、次の一手の会意を各メンバーと効果的に行うことができる ②メンバーひとりひとりの強み・課題を	①各チーム・メンバーの状況を正しく把握し、それぞれパフォーマンス向上に必要な指摘・フォロー・フィードバック・コーチングを効果的に行うことができる	①各部署・チーム・メンバーの状況を正しく把握し、それぞれパフォーマンス向上に必要な指摘・フォロー・フィードバック・コーチングを効果的に行うことができている	①メンバーを育成できるMid…スを育成することができる ②自部門・自事業のメ…の強み・課題を把握し…力を最大限…

階層別に作成すれば、
キャリアマップの完成

キャリアマップに沿った
階層別の学習プログラム作成

自覚し、磨き続ける

実践を通じて現在地とのギャップに気づく
オンライントレーニング

毎月/参加者数
2,000名

毎月/開催数
50回

実施形態
双方向型のセッション

- チャット形式
- ロープレ形式
- グループディスカッション形式
- 小人数制集中型ロープレ形式

自覚し、磨き続ける

動画×トレーニングで「知っている」を「できる」に

短時間動画でインプット、ライブでアウトプット。サイクルが回り続ける。

動画（3分～10分/本）

×

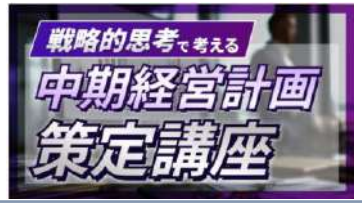
オンライントレーニング（30分～1時間/本）

自覚し、磨き続ける

新人研修からマネジメント層まで使えるコンテンツを網羅

コンプライアンス、情報セキュリティ、マーケティング、7つの習慣、PCスキル、コーチングetc.

導入企業の活用一例

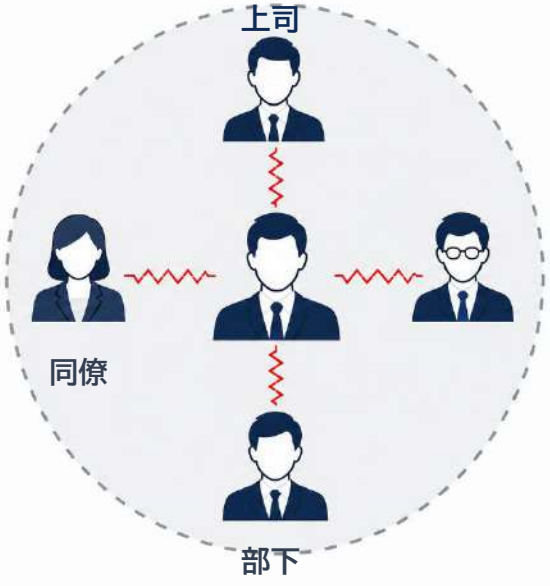
新入社員			
次世代リーダー			
管理職			

自覚し、磨き続ける

他者との交流が新たな視点や自らの課題に気づく機会になる

当たり前だと思っていたやり方・考え方が他業界や同業界と
接することで、違いに気づき、視野が広がり、自分の課題へ気づくことに繋がります。

社内の育成



Smart Boarding の「他流試合」

成長実感を持ち、継続する

伴走型支援で教育の「標準化」と「成長実感」を作る

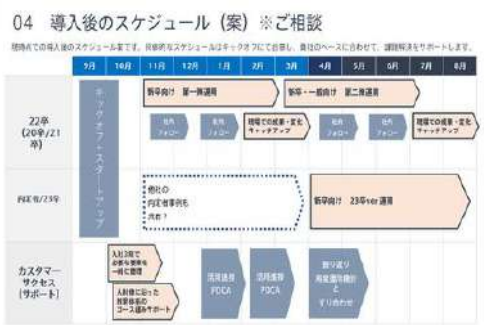
属人化しがちな育成を、再現性ある仕組み変える

育成課題の特定
ロードマップ作成

教育プログラム作成
ワークショップ

定期フォロー
システム

ロードマップ作成



キャリアマップ 教育プログラム作成

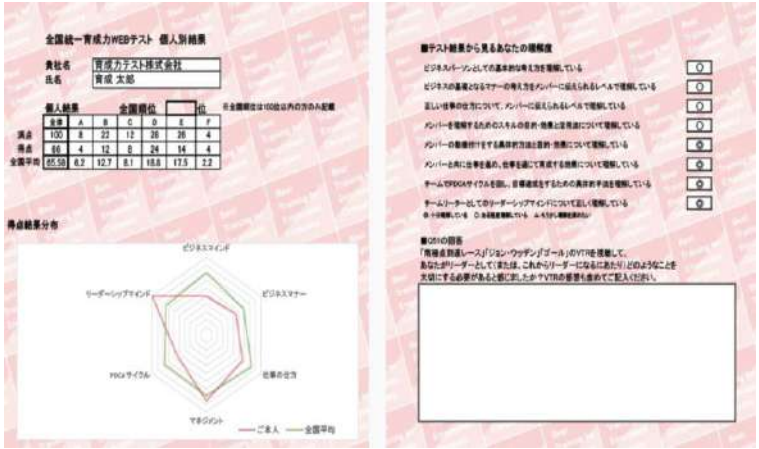
- Push型月次フォロー
- 個別の育成課題相談
- 他社事例共有

成長実感を持ち、継続する

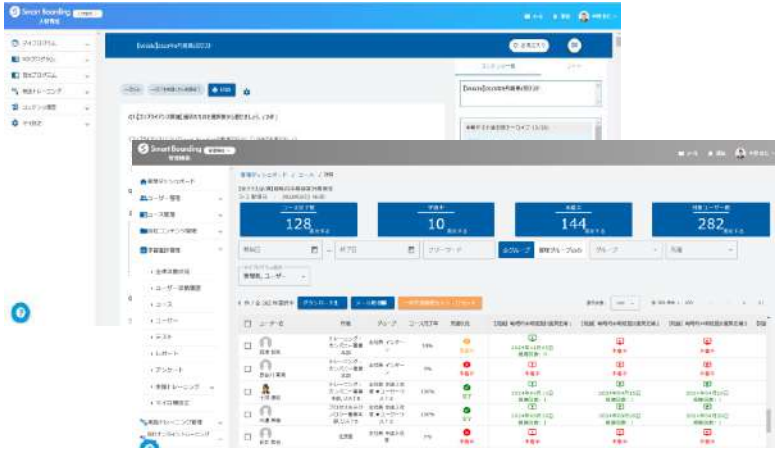
テスト・レポートによるアウトプットで成長の記録を可視化

受講状況、習得状況、評価までPDCAを回せる設計

全国統一テストで現状把握



レポート＆フィードバックで振り返り

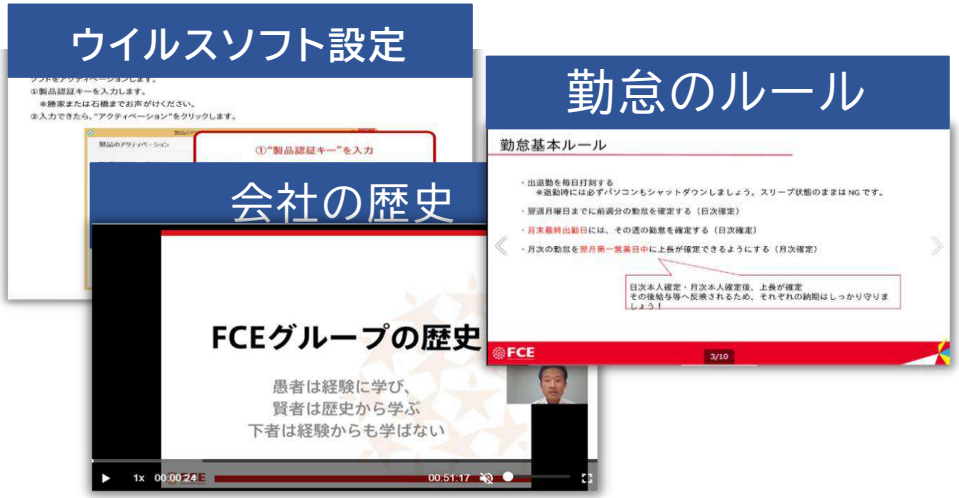


成長実感を持ち、継続する

自社独自の教育も「資産」に変える

自社の技術や専門知識を自社コンテンツ化

「入社時研修」の内容



「現場教育」の内容

教育と評価をつなぎ、「変わる人」を認め合う風土に。

学びが評価に反映され、行動変容が文化として根付く。

1

学ぶ

キャリアマップと連動した
カリキュラム

2

変わる

現場で実践し、振り返る

3

認められる

評価・フィードバックで
良い行動が習慣化される

評価とつなげるからこそ、社員は安心して学び続けられる。

Smart Boardingは多くの企業様に選ばれ、高い評価を頂いております。

人事が選ぶ導入したい
オンライン社員研修 No.1※

約70,000アカウント に選ばれた Smart Boarding

累計導入社数 ※1

1,200社突破

※2024年11月現在

継続率 ※2

99% 持続率

※2 2022年10月～2023年9月の期間にSmart Boardingを契約中の企業数の中から1-（チャーンレート）を算出し百分率で表現（小数点第2位を四捨五入）した数値。株式会社FCEの調査による。

研修満足度 ※3

95% ★★★ 満足度

※3 2022年10月～2023年9月の期間にオンライントレーニング参加者満足度アンケートの評価より全有効回答中「良い」「非常に良い」項目の占める割合を百分率で表現（小数点第1位を四捨五入）した数値。株式会社FCEの調査による。

セキュリティ

ISMS-AC

株式会社FCEは、2023年8月26日に国際規格「ISO/IEC 27001:2013」情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を取得しております。
▼適用規格 JIS Q 27001:2013
▼認証登録番号:C0780836-IM 1

JPX

株式会社FCEは、2022年10月27日東京証券取引所スタンダード市場へ上場しております。
■日本取引所グループ「新規上場会社情報」ウェブサイト
https://www.jpx.co.jp/listing/stocks/new/index.html

\ BOXIL SaaS AWARD /
Good Service賞 受賞

BOXIL Good Service Summer 2024

- 口コミ項目No.1!
- 9項目中、7項目で受賞！

人事が選ぶ 導入したい オンライン社員研修 No.1

導入後、充実のサポートが期待できるeラーニング No.1

従業員が学びたくなると思うeラーニング No.1

経営者が支持する 企業向け オンライン研修 No.1

社員教育に悩む 企業におすすめの オンライン社員研修 No.1

asoview!
大林組 OBAYASHI
Yakult
Panasonic Homes
JR西日本不動産開発株式会社
NES
あそびましょ。AKAGI
瑞穂市
WORLD INTEC
アートネイチャー

業界・業種や会社規模問わず

広くご利用いただいております

NEXTAGE GROUP
SENKO ADV
湖 KOIKEYA
NIPPON STEEL 日鉄保険サービス株式会社
健康にアイデアを meiji
HYPER
FUJI innovative spirit
Mountain, Ocean & Sun
ND
Balleggs

学びだけじゃない。福利厚生まで、ひとつに。

Smart Boarding会員限定

福利厚生サービス
「ベネフィット・ステーション」
を無料でご利用頂けます。

※レジャー・グルメ・旅行など、
暮らしに役立つサービスをお得に利用可能です。

シンプルな料金体系と、確実な立ち上げ支援。

ライトプランは月額制。導入時は「初期費用30万円の伴走パッケージ」で確実に運用へ。

契約プラン

¥1,280 /1ID

ご契約は30IDからとなります。
30IDの場合：月額38,400円

対象	1IDあたり	月額
30ID	¥1,280	¥38,400
60ID	¥900	¥54,000
100ID	¥700	¥70,000
200ID	¥500	¥100,000
300ID	¥400	¥120,000
500ID	¥300	¥150,000
750ID	¥260	¥195,000
1000ID	¥240	¥240,000

＋

ONBOARDING PACKAGE

初期費用30万円の伴走パッケージ

¥300,000

- キックオフ & 目的設定
- 階層別キャリアマップ作成支援
- 年間プログラム設計
- 運用ルーティン定着支援

伴走支援について

6回のMTGにて1階層のキャリアマップ（求める姿）のワークショップ1時間、カリキュラム作成を実施

伴走支援 プラン	専任担当がつきます。スタート時の支援では1時間のワークショップを行い、 1階層を例にキャリアマップの考え方をお伝えします。 そのうえで、各階層ごとのカリキュラムを作成支援をいたします。 導入してから使われない問題を防ぎたい、 伴走サポート付きで進めたい企業様におすすめです。

伴走支援について

6回のMTGにて1階層のキャリアマップ（求める姿）のワークショップ1時間、カリキュラム作成を実施

	1ヶ月		2ヶ月		3ヶ月		
	目的合意 操作説明会	1階層の 求める人材像 明確化	1階層の カリキュラム 作成	カリキュラム 擦合わせ ＋ カリキュラム納品	コース配信実施	進捗確認	課題抽出・一手合意
FCE	MTG① 1.5h ・導入目的 すり合わせ ・ToDo整理 ・スケジュール整理 ・初回操作説明	MTG② 1h ・1階層を例に キャリアマップ 作成方法について ワークショップ	キャリアマップ 完成後 カリキュラム 作成	MTG③ 1h ・カリキュラム 説明 ・修正＋納品	MTG④ 1h ・コース配信設定 操作説明	MTG⑤ 1h ・操作不明点 解消会	MTG⑥ 1h ・課題抽出＋ 一手合意
貴社			1階層の キャリアマップ 作成 想定工数 1h～2h	カリキュラムの ご確認 想定工数 0.5h～3h	コース配信 想定工数 0.5h～1.5h	社内リリース進捗 配信状況の ご確認 想定工数 0.5h～1h	学習進捗 ご確認 想定工数 0.5h～1h

FAQ - 01 / 他社との違い

他社サービスと、何が違うのですか？

Q 他社との一番の違いは？

A ①「動画見放題」では終わらせず、ライブで実践とアウトプットまで設計する点です。インプットとアウトプットを一体で運用します。
②専任コンサルタントが貴社の教育制度設計を伴走支援します。
他社にはないキャリアマップ支援から評価までサポートします。

Q 支援はどこまで？

A 受講設計から運用・改善まで、専任コンサルが「プッシュ型」で伴走。教育担当が一人でも回せる状態を作ります。

Q コスト面の違いは？

A ライブトレーニング・動画・伴走を統合提供し、
1人 ¥1280 / 月＋初期費用30万円。
通常キャリアマップ作成等の
コンサルティングを依頼すると数百万程度かかります。
人数が多くなればなるほどボリュームディスカウントがつくので
年間コストを大きく圧縮できます。

Q 成果は何で測れる？

A 受講率・完了率・実践度をダッシュボードで可視化。データを根拠に、人事と現場で同じ言葉で議論できます。

FAQ - 02 / 規模・業界・自発性・運用負荷

うちでも、本当に使えますか？

Q 小規模でも使えますか？

A

数十名規模から数千名規模まで導入実績があります。最低契約人数を満たせば、規模に応じた運用設計を行います。

Q 業界特有の内容はカバーできる？

A

汎用スキルはコースで、業界・自社固有の内容は「自社コンテンツ化」で補完。ハイブリッドで設計します。

Q 社員が自発的に学ぶか不安です

A

キャリアマップで学ぶ理由を作り、ライブで参加体験を生み、評価とつなげる三層設計で、自走を引き出します。

Q 準備や運用の手間は重くないですか？

A

コンサルがプログラム設計・運用ルーティンまで支援します。教育担当の準備工数を最小化します。